

2008年岩手・宮城内陸地震緊急観測グループによる余震分布

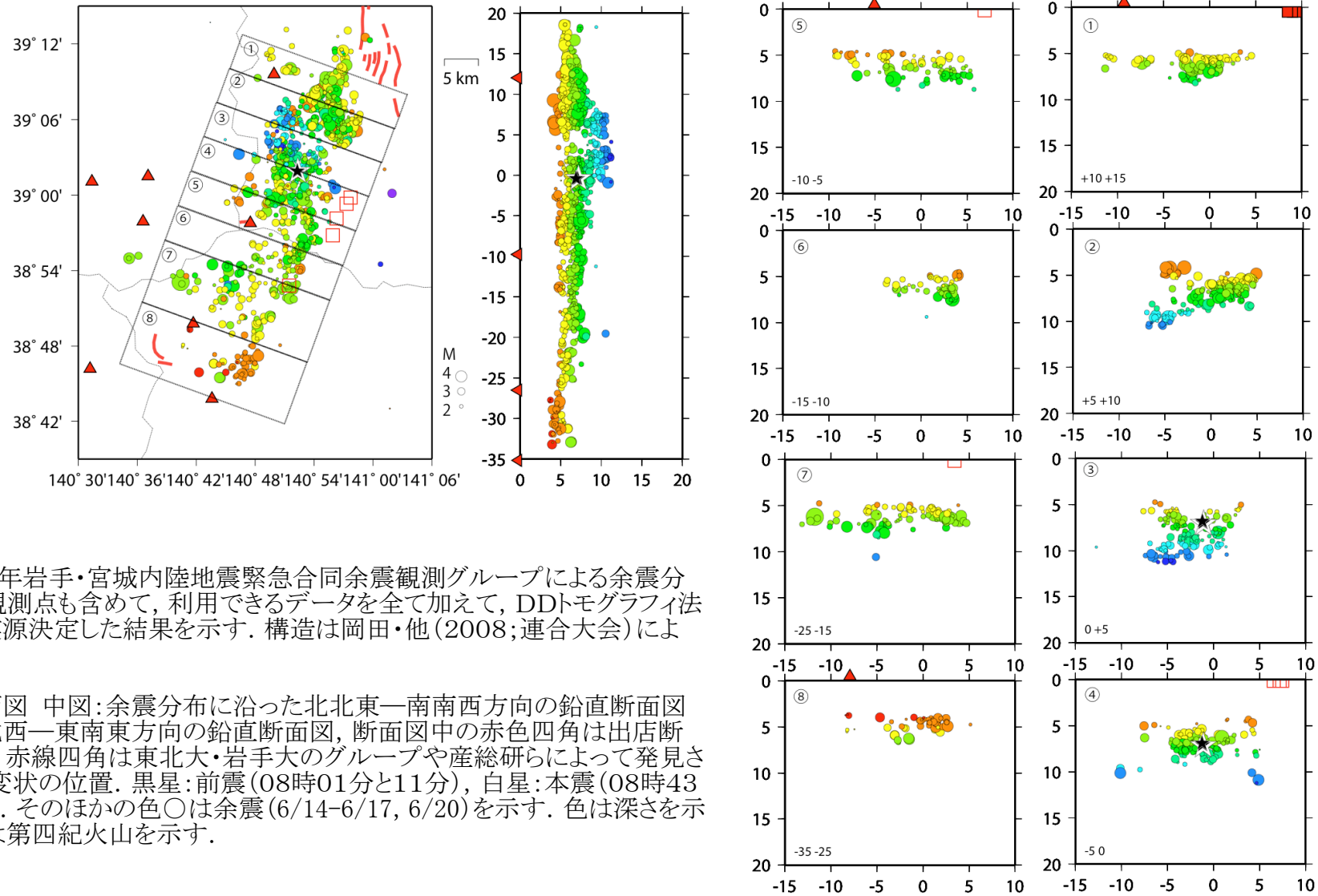


図2. 2008年岩手・宮城内陸地震緊急合同余震観測グループによる余震分布. 臨時観測点も含めて, 利用できるデータを全て加えて, DDTトモグラフィ法によって震源決定した結果を示す. 構造は岡田・他(2008; 連合大会)による.

左図: 平面図 中図: 余震分布に沿った北北東—南南西方向の鉛直断面図
 右図: 西北西—東南東方向の鉛直断面図, 断面図中の赤色四角は出店断層の位置, 赤線四角は東北大・岩手大のグループや産総研らによって発見された地表変状の位置. 黒星: 前震(08時01分と11分), 白星: 本震(08時43分)を示す. そのほかの色○は余震(6/14-6/17, 6/20)を示す. 色は深さを示す. 赤△は第四紀火山を示す.